

令和8年度 釜利谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

地域においては、詐欺被害の多発や8050問題、独居・高齢者のみ世帯の増加、閉じこもりや介護離職など、さまざまな課題が顕在化している。これらの背景には、人と人とのつながりの希薄化による「孤独・孤立」が大きく影響していると考えられる。
そのため、地域全体で支え合う土壌づくりを進めるとともに、認知症や障がいがあっても誰もが役割を持ち、いきいきと活躍できる場を創出し、自然につながる居場所づくりを推進することで、誰もが安心して住み続けたい地域づくりを目指していく。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	■	【詐欺被害防止】金沢区は詐欺被害が県下ワースト1位であることから、被害を少しでも減らせるよう、地域への訪問時や事業参加者への周知活動をはじめ、広報誌やSNSなどさまざまな媒体を活用し、詐欺被害防止に向けた普及啓発を行っていく。
■	☐	【地域のつながりづくり】地域住民や商店、企業、クリニックなど、釜利谷で暮らし・活動するさまざまな方々が集い、自分たちが生活する地域をどのようにより良くしていきたいかを話し合う場として、参加者を限定しない「かまりやみんなの会議」を開催する。 子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる教室や講座を企画するとともに、閉じこもりがちな男性も参加したくなるような内容を工夫し、地域の中で自然な交流が生まれるつながりづくりを進めていく。
☐	■	【認知症の理解促進】認知症になっても安心して住み続けられる地域を目指し、講演会や認知症サポーター養成講座を継続的に開催し、あらゆる世代に対して認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を行う。 また、釜利谷サロン（認知症カフェ）を継続して開催し、当事者や家族が安心して過ごせる憩いの場を提供するとともに、地域の理解者や支援者とのつながりを広げ、支え合いのネットワークづくりを進めていく。
☐	■	【切れ目のない支援】必要な人に必要な支援が届くよう、民生委員や地域の事業所等とネットワークを構築し、情報共有を密に行う。地域の支援団体や自治会等と連携し、住民の困りごとに応じた適切な相談先を共有できる体制を整える。あわせて、ケアプラザは気軽に集える場であり、いつでも相談できる場であることを日ごろから知ってもらうため「釜利谷地域ケアプラザ見学ツアー」を開催し、支援が必要になった際に一人で悩まず相談につながる環境づくりを進める。
■	☐	【孤独・孤立の解消】地域の中で安心して過ごせる居場所づくりと、一人ひとりが役割を持てる環境づくりを進めていく。認知症や障がいがあっても活躍できる場を創出するとともに、孤食を防ぐための食を通じた事業やイベントを充実させる。また、単発でも参加しやすいボランティア活動の機会を設けることで、地域の支援者の発掘と担い手づくりを目指す。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント